

日本语 能力测试

2级语法详解

汪丽影 彭 曦 赵 明 夏建新 方 萍 编著

● 百分百掌握

● 战力大提升

● 一考就上榜

第2版



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

日本语 能力测试 2级语法详解

汪丽影 彭 曦 赵 明 夏建新 方 萍 编著

● 百分百掌握

● 战力大提升

● 一考就上榜

第2版



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试 2 级语法详解/汪丽影等编著. —2 版.
上海: 华东理工大学出版社, 2008. 5

ISBN 978-7-5628-2290-5

I. 日... II. 汪... III. 日语-语法-水平考试-自学参
考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 047316 号

日语能力测试 2 级语法详解(第 2 版)

编 著/汪丽影 彭 曦 赵 明 夏建新 方 萍

策划编辑/王耀峰

责任编辑/常海霞

责任校对/李 晔

封面设计/王晓迪

出版发行/华东理工大学出版社

地址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电话: (021)64250306(营销部) (021)64251904(编辑室)

传真: (021)64252707

网址: www.hdlgpress.com.cn

印 刷/上海长阳印刷厂

开 本/787 mm×960 mm 1/16

印 张/19.25

字 数/375 千字

版 次/2006 年 8 月第 1 版

2008 年 5 月第 2 版

印 次/2008 年 5 月第 1 次

印 数/15081-23130 册

书 号/ISBN 978-7-5628-2290-5/H·715

定 价/28.00 元

(本书如有印装质量问题,请到出版社营销部调换。)

前言

由日本国际教育协会主办的“日语能力测试”是衡量日语学习者学习水平的权威考试。该考试由(1)文字·词汇,(2)听力,(3)阅读·语法三个部分构成,总分400分,其中语法部分占100分。在2级考试中,各个部分的平均分数要达到60分,即总分要达到240分才能合格。

本书按照(日本)国际交流基金和日本国际教育协会编写的《日本语能力测试出题基准》改订版(凡人社,2002年)的要求,并结合我国日语学习者的实际情况,对2级测试中要求掌握的语法知识以及1991年以来的真题进行了系统详细的讲解分析。鉴于2级语法实际上是以句法为主,而一般的语法书往往将句法按功能分类,或按所接续的词语排列,因而常使得源于同一词语的句法被拆得七零八碎,极不便于学习掌握运用这一现状,本书采取了“以词法代句法”的编写方针,具体来说就是把源于同一词语的各种句法视为该词语的不同用法,以解析多义词方式来讲解句法。这样一来,句法不再是令人望而生畏的繁琐的东西,而变得简单易记。另外,为了让使用者检验自己的掌握情况,本书编写了10套模拟试题以供练习。日语学习者使用本书,不仅能深入透彻地理解历年真题的出题意图,提高答题的正确率,而且还能系统地掌握日语的语法知识。因此,本书不仅适合于日本语能力测试2级的应试者,同时对大学日语专业中高年级的学生以及中高级日语学习者来说也是一本必备的参考书。

本书由南京大学的汪丽影、彭曦,三江学院的赵明,扬州大学的夏建新,南京工业大学的方萍编著。华东理工大学出版社的王耀峰先生为本书的顺利出版提供了诸多方便,在此谨致谢意。

注:作者编写了2级语法最新试题讲解的Word文档,读者如需要请与编辑联系,mail: samwyf001@yahoo.com.cn。

编者 于南京大学逸夫馆

目录

第一部分 日语语法基础知识

一、日语的词类	1
二、用言以及助动词的活用	3
三、授受关系	25
四、敬语	28
五、助词用法一览表	37

第二部分 句法说明及历年真题详解

1 【あいだ】	41
2 【あげく】	42
3 【あたる】	42
4 【あまり】	43
5 【いう】	45
6 【いくら】	52
7 【いけない】	52
8 【以上】	53
9 【一方】	54
10 【以来】	55
11 【いられない】	56
12 【うえ】	58
13 【うち】	60
14 【える/うる】	62
15 【おうじて】	62
16 【おかげで】	63
17 【おき】	64
18 【おく】	65
19 【おける】	66
20 【おそれがある】	67
21 【思うと/思えば/思ったら/かと思うと/かと思 ったら】	68
22 【が】	69
23 【かえって】	70
24 【かわる】	71

25	【かぎる/かぎり/かぎって/かぎらない/かぎらず】	71
26	【かけて】	75
27	【かける】	77
28	【がたい】	77
29	【がち】	78
30	【がてら】	79
31	【かというと/かといえは】	80
32	【かな】	80
33	【かねない】	81
34	【かねる】	82
35	【かまわず/かまわない】	83
36	【から】	83
37	【からには】	86
38	【かわりに】	87
39	【かわる】	89
40	【関して/関しては】	89
41	【きっかけ】	90
42	【決まっている】	90
43	【気味】	91
44	【きり】	92
45	【きれる/きれない/きれません】	93
46	【くせに】	95
47	【くらい/ぐらい】	95
48	【くらべ】	97
49	【くわえて】	97
50	【契機】	98
51	【現在】	99
52	【心を打たれる】	99
53	【こそ】	100
54	【こたえ/こたえて】	101
55	【こと】	102
56	【こめて】	109
57	【際/際し/際して/際しては】	110
58	【最中】	111

59	【さえ】	112
60	【先立つ】	114
61	【さすが/さすがに/さすがの/さすがだ】	115
62	【ざるをえない】	115
63	【しか】	117
64	【しかたがない/しかたない】	119
65	【次第/次第で(は)/次第だ】	120
66	【したがい/したがって】	122
67	【したって】	123
68	【しまう】	123
69	【上は/上の/上も】	124
70	【しょうがない/しょうがない】	125
71	【すえ】	126
72	【すぎず/すぎない】	126
73	【ずつ】	128
74	【すら】	128
75	【せい/せいか】	129
76	【沿う】	130
77	【そうだ】	130
78	【それでも】	132
79	【それとも】	132
80	【対する】	133
81	【だけ】	134
82	【たとえ/たとえ…でも/たとえ…でも】	137
83	【たとえる】	138
84	【たび(に)】	138
85	【たまらない】	139
86	【ため】	140
87	【だらけ】	141
88	【たり】	142
89	【ちがいない】	143
90	【ちゅう】	144
91	【中心に/を中心にして/を中心として】	144
92	【つい】	145

93	【ついて】	146
94	【ついでに】	147
95	【通じて】	148
96	【つき】	148
97	【っこない】	149
98	【つつ】	150
99	【つぱい】	152
100	【つもり】	152
101	【つれ/つれて】	153
102	【で】	154
103	【て(で)から】	155
104	【ては】	156
105	【では】	157
106	【ではないか/じゃないか】	158
107	【ても】	159
108	【でも】	160
109	【と】	161
110	【といわず】	164
111	【当然】	164
112	【通して】	165
113	【とおりに/どおり(に)】	166
114	【とか】	166
115	【ところ】	167
116	【ところ(が)】	169
117	【どころか】	170
118	【ところ(で)】	171
119	【どころではない/どころではなく】	172
120	【ところを】	173
121	【として/としては/としての/としても】	174
122	【としても】	175
123	【とする】	176
124	【とすれば/としたら】	176
125	【とたん】	178
126	【とって(は)/とっての/とって(も)】	179

127	【とともに】	180
128	【とは】	181
129	【ともかく】	182
130	【伴う/伴い/伴って】	183
131	【問わず】	184
132	【ないことはない/ないこともない】	185
133	【なか】	186
134	【ながら】	186
135	【なくはない】	188
136	【なにしろ】	188
137	【なら】	189
138	【ならない/なりません/ならぬ/ならん】	190
139	【なんか】	192
140	【なんて】	193
141	【なんでもない】	194
142	【なんと】	194
143	【にしては】	195
144	【にしても】	196
145	【にしろ/にせよ】	197
146	【につけ/につけて】	198
147	【につけても】	199
148	【には】	199
149	【に(も)かかわらず】	201
150	【ぬき】	202
151	【ぬく】	203
152	【のに】	204
153	【のみ】	205
154	【のみならず】	205
155	【ばかり】	206
156	【はじめ】	211
157	【はじめて】	212
158	【はず】	213
159	【反する】	213
160	【反面】	214

161	【ぶり】	215
162	【へ】	216
163	【べき】	217
164	【ほか】	218
165	【ほど】	221
166	【まい】	223
167	【まで】	224
168	【まま】	225
169	【みたいだ】	225
170	【むかう】	226
171	【むける】	226
172	【めぐる】	227
173	【も】	228
174	【もちろん】	229
175	【もと】	230
176	【基づく】	231
177	【もとより】	232
178	【もの】	233
179	【ものなら】	237
180	【ものの】	238
181	【や】	239
182	【やら】	240
183	【よう】	241
184	【ようだ】	242
185	【ようになっている】	245
186	【より】	246
187	【よる】	247
188	【らしい】	249
189	【わけ】	250
190	【わたる】	253
191	【わりに/わりと】	254
192	【を】	256
193	敬語	257

第三部分 模拟试题

模拟试题 1	258
模拟试题 2	261
模拟试题 3	264
模拟试题 4	268
模拟试题 5	271
模拟试题 6	274
模拟试题 7	278
模拟试题 8	281
模拟试题 9	285
模拟试题 10	288

模拟试题答案	292
--------------	-----

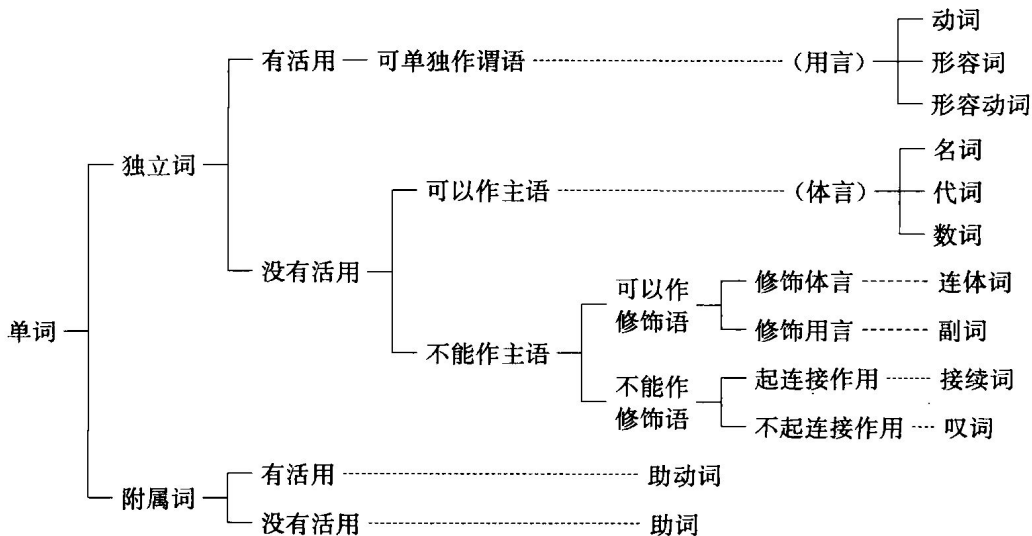
第一部分 日语语法基础知识

日语能力测试 1、2 级语法部分对用言以及助动词的活用、授受关系以及敬语等方面的语法知识虽然没有什么特殊的要求,但这些内容在试题中随处可见。如果对这些知识没有一个系统的了解,想要提高答题的正确率是非常困难的。因此,本书在此部分首先对日语语法基础知识进行概括。使用者既可以先通读此部分,然后再去看各个句型,也可以在遇到疑难的时候进行参考。本部分内容如下:

- 一、日语的词类
- 二、用言以及助动词的活用
- 三、授受关系
- 四、敬语
- 五、助词用法一览表

一、日语的词类

日语中的词类称为“品词”,按其意义、形态和在句中的作用可分为以下 12 种:



根据旺文社编《标准国语辞典》(旺文社,1991 年)附录 6 中的资料整理而成

各种品词的定义及作用如下：

1. 名词：表示人以及事物名称的词。根据其表达的意思不同，又可分为固有名词（如：「^{とうきやうだい}大学」「^{なつめ そうせき}夏目漱石」）、普通名词（如：「^{やま}山」「^{いぬ}犬」）、集合名词（如：「^{どうぶつ}動物」「^{くだもの}果物」）、抽象名词（如：「^{へいわ}平和」「^{あい}愛」「^{うんどう}運動」）等。
2. 代词：代替人以及事物的词。根据其表达的意思不同，又可分为人称代词（如：「わたし」「あなた」「^{かれ}彼」「^{かのじよ}彼女」）、事物代词（如：「これ」「それ」「あれ」）、场所代词（如：「ここ」「そこ」「あそこ」）、方向代词（如：「こちら」「そちら」「あちら」）、疑问代词（如：「どれ」「どこ」「だれ」「どちら」）。
3. 数词：表示数量以及顺序的词。其中表示数量的为基数词（如：「^{ひと}一つ」「^{さんにん}三人」「^ご五冊」），表示顺序的为序数词（如：「^{いちばん}一番」「^{にこう}二号」「^{だいよん}第四」）。
4. 动词：表示事物的存在、动作、作用或临时状态的词。按是否能够带宾语，可以分为他动词（如：「^の飲む」「^か買う」）和自动词（如：「^と飛ぶ」「^{あふ}溢れる」）；按活用规则的不同，可以分为五段、上下一段、カ行变格、サ行变格动词。
5. 形容词：说明人或事物的性质或状态的词。词尾全都为「い」（如：「^{あつ}暑い」「^{さむ}寒い」）。
6. 形容动词：说明人或事物的性质或状态的词。其作用类似于形容词，而活用规则与动词相同，因此被称为形容动词。如：「^{まじめ}真面目だ」「^{りっぱ}立派だ」。
7. 副词：说明用言的状态或程度的词。根据其表达的意思不同，又可分为情态副词（如：「はっきり」）、程度副词（如：「ちょっと」）、陈述副词（如：「^{けつ}決して」）。
8. 连体词：说明体言的形态或程度的词。如：「この」「あらゆる」。
9. 接续词：介于词和词或句和句之间起连接作用的词。根据所接续的词句关系，又可分为顺接（如：「だから」）、逆接（如：「しかし」）、累加（如：「および」）、选择（如：「あるいは」）等。
10. 叹词：表示感动、呼吁、应答等意思的词，一般用于句首。如：「まあ、きれいだ」中的「まあ」，「はい、そうです」中的「はい」。
11. 助动词：接在用言以及体言之后，用来增添某种意义，或表示语言主体的判断、感动等的词。根据意义的不同，又可以分为被动（如：「れる・られる」）、可能、自发、尊敬（如：「れる・られる」）、使役（如：「せる・させる」）、郑重（如：「です」「ます」）、否定（如：「ない」「ぬ」）、过去（如：「た」）、推量（如：「う・よう」）、推定（如：「らしい」）、希望（如：「たい」）、样态、传闻（如：「そう」）助动词等；根据活用形式的不同，又可以分为动词形（如：「れる」「せる」）、形容词形（如：「たい」「らしい」）、形容动词形（如：「だ」「ようだ」）等。
12. 助词：附在独立词之后，表示词和词之间的关系，或表达某种意义、语感的词。根据作用的不同，又可以分为格助词（如：「が」「を」「から」）、接续助词（如：「ば」「ても」）。

「のに」)、并列助词(如:「と」「や」)、提示助词(如:「は」「も」)、副助词(如:「だけ」「など」「ばかり」)、终助词(如:「が」「ぜ」「わ」)。

另外,从单词的结构来看,还可以分为复合词(如:「登山靴」^{とざんくつ}「名高い」^{なだかい})、接头词(如:「お」「総」)、接尾词(如:「くん」「たち」)等。

二、用言以及助动词的活用

日语中有词尾变化,并可以单独作谓语的词被称为用言。用言包括动词、形容词、形容动词3类。用言活用是指日语中的动词、形容词、形容动词的词尾变化。用言的活用变化只限于词尾,不发生变化的部分叫做词干。有些用言没有词干和词尾的区别,如「見^みる・寝^ねる・来^くる・する」等。另外,助动词也有活用。活用的种类有6种,即未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形。

- (1) 未然形。因用来表示事态尚未发生而得此名。在现代日语中一般后续助动词「ない」「れる・られる」「せる・させる」「う・よう」等;在古语中一般后续助词「ば」以及助动词「ず」「む」「る・らる」「す・さす」「しむ」等。
- (2) 连用形。因可以后续用言而得此名。既可以后续用言(如:「白^{しろ}く光^{ひか}る」中的「白く」),也可以后续助动词「た」「ます」「たい」、助词「て」「たり」「ながら」等表示各种意思,以及表示句子的中顿(如:「日^ひが沈^{しず}み、月^{つき}が出^でた」中的「沈み」),另外还可以使用用言名词化(如:「休^{やす}み」「遠^{とお}く」)。
- (3) 终止形。因可以单独结句而得此名。还可以后续助动词「そうだ」以及助词「と」「から」「けれど(も)」等。又可以称为“基本形”。
- (4) 连体形。因可以单独修饰体言而得此名。还可以后续助动词「ようだ」以及助词「の」「ので」「くらい」等。动词、形容词的连体形与其终止形相同,形容动词则有所不同。
- (5) 假定形。后续助词「ば」可以表示假定的活用形。不过,形容动词的假定形常将「ば」省略。
- (6) 命令形。可以单独结句,表示命令以及希望的活用形。只有动词才有命令形。

1 动词的活用

日语动词按照其形态和活用的规律可分为“五段活用动词”、“一段活用动词”、“サ行变格活用动词”、“力行变格活用动词”。其中“一段活用动词”以“ウ段”假名为基准,根据其词尾倒数第二个假名所在段的位置,又可分为“上一段活用动词”(如:「できる」(能、会)等)和“下一段活用动词”(如:「出^で掛^かける」(出门)等)。所谓“变格活用”是指不规则的词尾变

化。“サ行变格活用动词”又简称为“サ变动词”，“力行变格活用动词”简称为“力变动词”。

动词的原形称为“基本形”，辞典上所列的动词词条就是基本形。动词的活用是根据其在句子中的用法及后续词来决定的。动词的活用形及其用法大致如下：

五段动词活用表

	行 名	五 段 动 词									主要作用以及后续助动词、助词
		ア (ワ)	カ	ガ	サ	タ	ナ	バ	マ	ラ	
	基本形	買う	書く	泳ぐ	話す	待つ	死ぬ	遊ぶ	読む	乗る	
	词 干	買	書	泳	話	待	死	遊	読	乗	
活 用 形	未然形	わ	か	が	さ	た	な	ば	ま	ら	否定(ない・ず・ぬ); 被动(れる); 使役(せる)
		お	こ	ご	そ	と	の	ぼ	も	ろ	意志(う)
	连用形 「ます」形 「て・た」形	い	き	ぎ	し	ち	に	び	み	り	连接用言; 构成敬语体(ます); 用作名词
		っ	い	い	し	っ	ん	ん	ん	っ	中顿(て); 简体过去式(た)
	终止形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	结句
	连体形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	连接体言或体言性词语
	假定形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	假定(ば)
	命令形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	命令

一段动词活用表

	一 段 动 词								主要作用以及后续 助动词、助词	
	上 一 段				下 一 段					
	基本形	居る	見る	起きる	落ちる	出る	得る	食べる		育てる
	词 干	(居)	(見)	起	落	(出)	(得)	食		育

(续 表)

		一 段 动 词								主要作用以及后续 助动词、助词
		上 一 段				下 一 段				
活 用 形	未然形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	否定(ない・ず・ぬ); 被动(られる);使役(さ せる);意志(よう)
	连用形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	连接用言;敬语体(ま す);用作名词;中顿 (て);简体过去式(た)
	终止形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	用于结句
	连体形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	连接体言或体言性词语
	假定形	いれ	みれ	きれ	ちれ	でれ	えれ	べれ	てれ	假定(ば)
	命令形	いろ いよ	みろ みよ	きろ きよ	ちろ ちよ	でろ でよ	えろ えよ	べろ べよ	てろ てよ	命令

カ・サ行变格动词活用表

		カ行变格动词	サ行变格动词	主要作用以及后续助动词、助词
		来(く)る	為(す)る	
	基本形	来(く)る	為(す)る	
	词 干	来	為	
活 用 形	未然形	こ こ	さ・し・せ し	否定(ない・ず・ぬ);使役;被动; 意志(よう)
	连用形「ます」形 「て・た」形	き き	し し	连接用言;构成敬语体(ます) 用于中顿(て);构成简体过去式 (た)
	终止形	くる	する	用于结句
	连体形	くる	する	连接体言或体言性词语
	假定形	くれ	すれ	表示假定(ば)
	命令形	こい	しろ・せよ	表示命令

(1) 未然形

动词的未然形有很多用法,最常见的有后续「ない」表示否定;后续「なければなら
ない」「なければいけない」「ねばならない」「ねばいけない」「なくてはならない」「な
くてはいけない」等表示必须、必然、义务、强制等;后续「せる」「させる」表示使役;后
续「れる・られる」表示被动、可能、尊敬、自发;还可后续「う・よう」表示推量或意志。
例如:

① 表示否定

- ◎ 見るだけで買わない(只看不买)。
- ◎ 私^{わたし}は生魚^{なまぎかな}を食べない(我不吃生鱼)。
- ◎ あの人が来ないと思います(我想他不会来了)。
- ◎ あの子は全然勉強^{ぜんぜんべんきょう}しない(那孩子根本就不学习)。

② 表示必须

- ◎ 君が行かなければいけない(你必须去)。

③ 表示使役

- ◎ 学生に作文^{がくせい さくぶん}を書かせる(让学生写作文)。
- ◎ 病人^{びょうにん}に重湯^{おもゆ}を食べさせる(给病人喂粥汤)。
- ◎ 弟子^{でし}を自宅^{じたく}にこらせて稽古^{けいこ}をつける(让弟子到家里来练习)。
- ◎ 宿題^{しゅくだい}を忘れた^{わす}生徒^{せいと}を残して勉強^{べんきょう}させる(把忘记写作业的学生留下来,让他们学习)。

④ 表示被动

- ◎ お金^{かね}を泥棒^{どろぼう}にごっそり盗まれた(钱被小偷偷得精光)。
- ◎ 友達^{ともだち}に日記^{にっき}を見られた(日记被朋友看了)。
- ◎ 受験勉強^{じゅけんべんきょう}中、友達^{ともだち}にこに来られた(正在考试复习,却来了朋友)。
- ◎ 警察^{けいさつ}に監視^{かんし}されている(被警察监视着)。

⑤ 表示可能

- ◎ 英語^{えいご}が読まれる(能看懂英语)。

注意: 五段动词后续表示可能的助动词「れる」时,一般都用约音,即将动词未然形「あ」段假名和「れ」约音成「え」段假名。如: (読む→読まれる→読める)。

- ◎ 一時^{いちじ}ほどの元氣^{げんき}は見られない(看不到以前的锐气)。